



第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会  
イブニングセミナー5

# 爪白癬は 治せる時代

—皮膚科医として完全治癒を目指す—

本セミナーはライブ配信も実施しております。

詳細は「第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会ホームページ(<https://cjda73.jp/>)」よりご確認ください。

## Program

座長

**渡辺 大輔** 先生

愛知医科大学 皮膚科学講座 教授

講演

1

**超高齢化社会における  
「爪」の大切さ**

演者

**齋藤 昌孝** 先生

慶應義塾大学医学部 皮膚科学教室 専任講師

講演

2

**爪白癬は早く確実に治す**

～ネイリンカプセル多施設共同観察研究を踏まえて～

演者

**仲 弥** 先生

仲皮フ科クリニック 院長

日時

2022年

**10月29日(土)**  
**18:20-19:20**

会場

**E会場**

(富山国際会議場 2F  
多目的会議室203・204)



## 第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会 イブニングセミナー5

# 爪白癬は治せる時代 —皮膚科医として完全治癒を目指す—

講演  
1

## 超高齢化社会における「爪」の大切さ

演者 齋藤 昌孝 先生 (慶應義塾大学医学部 皮膚科学教室 専任講師)

未曾有の超高齢化社会に突入し、いかに健康を維持して快適な日常生活を過ごすかについての関心が高まっている。とりわけ、日常生活動作の基本となる「歩行」を長きにわたって安心かつ安全に行えるようにすることは、重要な課題のひとつである。トラブルを経験して初めて気づかされるのが爪の大切さであり、足の爪の異常や変形によって安心・安全・快適な歩行ができず、QOLの低下につながっているケースに遭遇する機会は少なくない。足の爪は、加齢にともなう骨や関節の変形によってしばしば影響を受けることから、フットケアの側面からの対応も求められ、さらに爪白癬に代表される感染症のターゲットにもなりやすいことから、それらの診断から治療に至るまで皮膚科医の果たす役割は大きい。本講演では、さまざまな足の爪のトラブルへの対処法ならびに予防法について主に解説し、超高齢化社会においてますます大切になってくる「爪」について考えてみたい。

講演  
2

## 爪白癬は早く確実に治す ~ネイリンカプセル多施設共同観察研究を踏まえて~

演者 仲 弥 先生 (仲皮フ科クリニック 院長)

実臨床における爪白癬に対するホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物(ネイリン®カプセル、以下F-RVCZ)の有効性、安全性および治療継続率を検討するため、爪白癬患者350例を対象に多施設共同後ろ向き観察研究を行った。その結果、治療継続率は12週後で83.4%と比較的高く、F-RVCZ投与開始48週後の臨床的治癒率は78.9%、完全治癒率は57.8%であった。臨床的治癒例は投与開始12週後に初見されるも多くは36週以降にみられ、臨床的治癒までの期間は41.9週(中央値)であった。多くの症例で臨床的治癒および完全治癒に先立ち真菌学的治癒が認められたが、48週時には約20%の症例で真菌検査が未施行であった。本研究では第III相臨床試験で除外された近位爪甲下爪真菌症や楔形の症例に対しても本薬の高い有効性が認められた。副作用は350例中64例(18.3%)に76件認められ、そのうち15例で投与が中止されたが、重篤なものはなかった。本研究により実臨床におけるF-RVCZの有効性と忍容性、および治療継続率が確認された。「爪白癬を早く確実に治したい」という患者の思いに寄り添う、短期間治療で確実に治す内服薬として、F-RVCZは爪白癬治療に貢献できる薬剤と思われる。